

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。

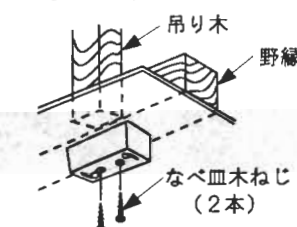


! 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店（有資格者）に取り付け工事を依頼してください。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。

電気工事店（有資格者）のかたへ・・・下記 [A] [B] での取り付け工事上のご注意

[A] あらたに角形引掛シーリングボディを取り付ける場合

●付属の角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



! 吊り木などで補強された野縁のある所に取り付けてください。
*落下によるけがの原因となります。

[B] ボックス類に取り付ける場合、及びボルトで取り付ける場合

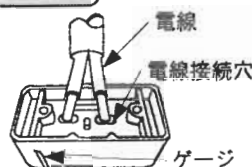
●取り付け金具とアダプタの取り付け穴を使用してください。



! プラスチック製ボックスには、取り付けしないでください。
*落下の原因となります。

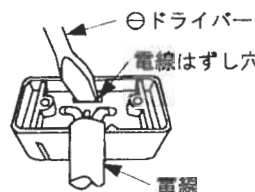
角形引掛シーリングボディへの電線の接続のしかた

- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。
- 適用電線…φ1.6、φ2.0単線
- *なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。



解除のしかた

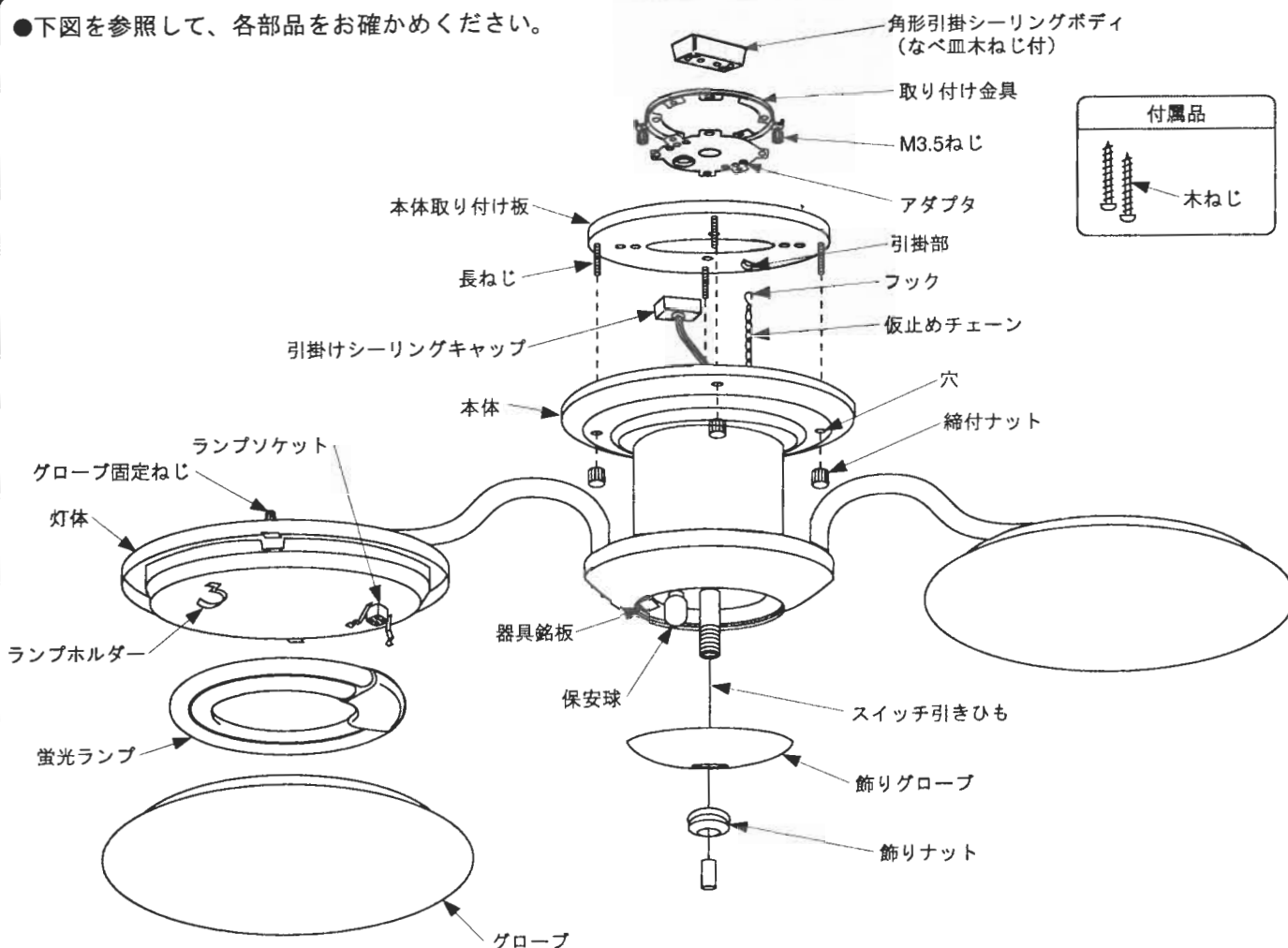
- ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。



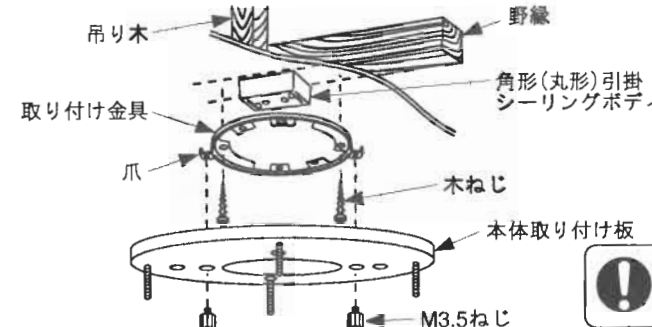
器具の取り付けかた

1. 本体の取り付け

(1) 本体取り付け板を、M3.5ねじで取り付けてください。

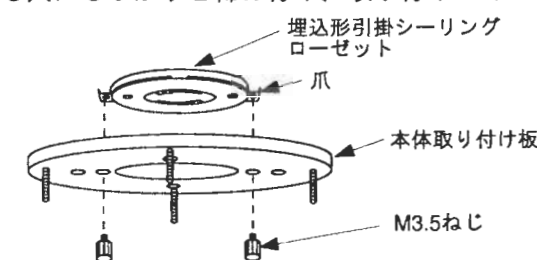
角形(丸形)引掛シーリングボディが天井に付いている場合

- ①取り付け金具を吊り木などで補強された野縁の所に、付属の木ねじでしっかりと固定してください。
- ②本体取り付け板を、M3.5ねじで取り付け金具の爪のねじ穴にしっかりと締め付け、取り付けてください。



埋込形引掛シーリングローゼットが天井に付いている場合

取り付け金具からM3.5ねじをはずした後、本体取り付け板を、M3.5ねじで埋込形引掛シーリングローゼットの爪のねじ穴にしっかりと締め付け、取り付けてください。



! M3.5ねじが確実に締められているか確認してください。
*ゆるんでいる場合、器具落下の原因となります。

- (2) 本体を持ち上げ、本体の仮止めチェーンの先端のフックを本体取り付け板の引掛部に引っ掛けフックがはずれないようペンチ等で閉じてください。

- (3) 本体を持ち上げ、引掛シーリングキャップをシーリングボディ（又は埋込ローゼット）に差し込んで右方向へいっぱい回してください。

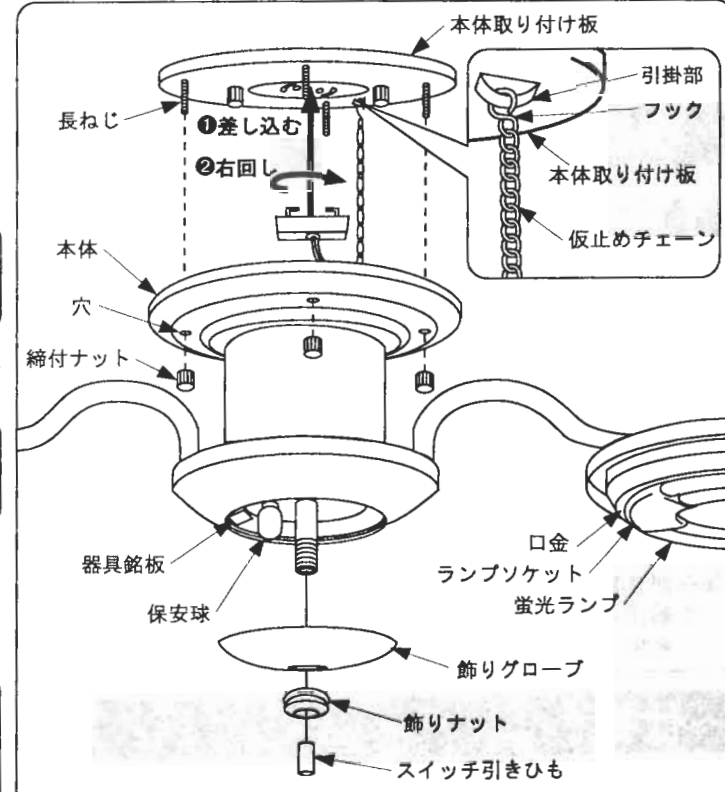
! 引掛シーリングキャップが確実に接続されているか確認してください。
*接続が不完全な場合、火災の原因となります。

- (4) 本体の穴に本体取り付け板の長ねじを通して、締付ナットで確実に本体を取り付けてください。

! 締付ナットが確実に締められているか確認してください。
*ゆるんでいる場合、器具落下の原因となります。

- (5) 保安球が確実に取り付けられているかお確かめののち、飾りグローブを飾りナットでしっかりと取り付けください。

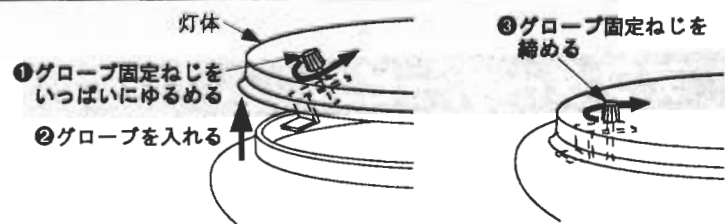
! 蛍光ランプの口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認してください。
*接続が不完全な場合は、火災の原因となります。



2. グローブの取り付け

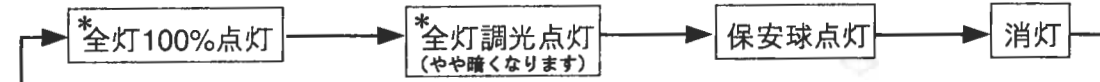
- (1) 灯体裏側にある、グローブ固定ねじ（2か所）を左に回していっぱいゆるめてください。
- (2) 灯体にグローブを入れて、グローブ固定ねじを右に回して締め付け確実に取り付けください。

! 取り付けましたら、器具が確実にとりついているかお確かめください。



3. 点灯順序確認

●スイッチ引きひもを引いて点灯順序をお確かめください。（4段切り替えスイッチ付きです。）



*所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。